

関西詩人協会会報

第 86 号
2017.7.1

発行者 有馬 敲

「関西詩人協会・イベント2017」のご案内

日時 9月9日(土) 午後1時30分より(開場1時)
場所 ドーンセンター 5階 視聴覚スタジオ
参加費 1,000円

開会挨拶 関西詩人協会代表 有馬 敲

第1部 講演「詩が開いた心の扉」～奈良少年刑務所詩集より～

講師 寮 美千子

受刑者たちが、そっと心の奥にしまっていた葛藤、悔恨、優しさ…。童話作家に導かれ、彼らの閉ざされた思いが「言葉」となって溢れ出た時、奇跡のような詩が生まれた。美しい煉瓦建築の奈良少年刑務所の中で、受刑者が魔法にかかったように変わっていく。

彼らは、一度も耕されたことのない荒地だった—
「刑務所の教室」で受刑者に寄り添い続けた作家の実話です。

第2部 演奏 音登夢 (おととむ)

ジャズであれ、タンゴであれ、クラシックであれ、
なんでも弾きこなす、夫婦の楽しいお話と演奏をお楽しみに。

第3部 会員による詩の朗読

1. 五行詩朗読作品の募集

- *テーマは『色』ですが、自由テーマも結構です。
 - *一人2編迄とします。
 - *人気投票にて上位3名を総会で表彰いたします。
 - *プログラムに掲載する都合上8月10日締め切りとします
- 送り先 メール z 663363@yahoo.co.jp
〒615-0821 京都市右京区西京極北裏町13-6 田村照視 宛

2. 講師 寮美千子さんが奈良少年刑務所で指導され、発刊された詩集『空が青いから白を選んだのです』の、朗読文化の会「あい」による朗読。

- ①「関西詩人協会イベント2017」のご案内/運営委員・会計監査改選投票のお願い
- ②詩人のふるさと探訪報告/第26回詩画展・詩話会のお知らせ
- ③会員の詩 (吉中桃子・阪南太郎)/英訳五行詩(松原さおり・吉田定一・和田実恵子)
- ④新会員紹介(志田恵・加藤桂・安福奈津子) 入退会・住所変更/詩画展搬入のご注意/募集/子引き孫引き/HIPだより/今後の予定
- ⑤今後の予定/運営委員会のもよう
- ⑥会員の活動/会員が発行または編集する詩誌紹介/会員の発刊詩書/団体の会報・図書

《投票のお願い》 運営委員・会計監査改選

11月の総会に先立ち、次期運営委員等の改選のための投票用紙をお送りしました。任期は、本年総会(11月12日)から2020年の総会までの3年間です。

役員選出細則5項における地域バランスを考慮して、投票にあたっては、できるだけ滋賀県、和歌山県、三重県の3県からも委員候補を投票して下さい。

○棄権せず、必ず投票して下さいませようお願致します。

○投票は20名連記、無記名。(20名未満の記入でも有効)

○締め切り..7月31日(月) 当日消印有効

○投票用紙の送り先..同封の封筒で嵯峨京子宛に願致します。

※送料の82円切手は恐縮ですがご協力の程お願い致します。

選挙管理委員会委員長 嵯峨京子

詩人のふるさと探訪

かやぶぎの里・美山町

5月20日は快晴であった。当日急遽欠席になった人もおられたが、43名の参加者と新緑の周山街道を走る快適なバス旅行ができた。

バスが停車すると沿道添いにカメラの三脚が林立して、この村にも今日が特別な日だとわかる。

かやぶぎの里に到着と同時に諏訪神社へ移動、昼食をいただきながらの朗読会となった。四百年は経っているという栃の樹の影で、熊井三郎夫人、長岡紀子、名古きよえ、安森ソノ子、市原礼子、各氏五名の朗読を聴いた後、それぞれに茅葺きの里を散策。

「里の区域から出てく
ださい」という放送が
流れるが、そうそう急
いで移動できる訳がな
い、私たちに出ると
いう意味が分かってな
かった。

里のあちこちに、設置してある小さな小屋の屋根がばらりと開いて、上流から順番に屋根の上に放水の水があたり、各所では歓声があがった。放水は5分間と聞いていたが、結構堪能できた。

帰りは「慈眼寺」に立ち寄って真つ黒に塗られた明智光秀の木像を拝観した。バスの中



で田島廣子、田村照視、福田ケイ各氏の朗読を聴いた。また、安森さんの美林を守る苦労話もいちいち聞きながら聴いた。

今回の参加者で特筆すべきはご夫婦での参加が10組もあった事だ。勿論、詩を書く作業は詩人一人のものであるけれど、お互いを認められて老を迎え、新緑の中で同じ体験ができるということは、頼もしいことだと思う。ここに名前を記しておく。

ご夫婦参加・大倉元・司茜、紀ノ国屋千、熊井三郎、斉藤明典、榊次郎、竹内正企、田村照視、寺西宏之、原圭治、山下俊子。

個人参加・市原礼子、岩井洋、遠藤カズエ、大園千代子、和比古、神田さよ、左子真由美、園田恵美子、田島廣子、釣部与志、永井ますみ、長岡紀子、名古きよえ、西きくこ、橋爪さち子、福田ケイ、松原さおり、安森ソノ子、吉田定一、につち倶楽部から4名。

(周山・慈眼寺での集合写真・撮影・榊二郎)

(文責・永井ますみ)

かやぶぎの里に

かやぶぎの里を訪れた五月二十日は晴天であった。国の重要伝統的建造物群保存地区であるかやぶぎの里では、防火放水銃の一斉放水が五月と十二月に行われ、私達はかやぶぎ屋根の里に打ち上る水の涼しげなアーチを見守った。

午後一時半のサイレンと共に、五分間、天空、大地、どっしりと建つ家屋の願いと呼应し、私は「今年もこの自然が無事でありますように」と祈り続けた。

詩朗読後の山々の新緑、けなげに咲く小さな花の様子に魅せられて心身はリフレッシュ。そして「ありがとう。この昔からの佇まいを守って下さった人々よ」と頭を下げ、すぐ近くの花脊地方で、私も平安時代からの諸々を街と田舎の両方から支え守る一人であると、痛感するのであった。

(安森ソノ子)

第26回 詩画展

多彩な詩とコラボするアート

2017年7月7日(金)〜7月19日(水)

(この間、休館なし)

場所

大阪府立中央図書館エントランスギャラリー

(地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線「西長堀」7号出口すぐ)

(係への直通電話) 06-6539-3326

中央図書館開館時間 平日 9:15〜20:30

土日祝休日 9:15〜17:00

主催 関西詩人協会 大阪府立中央図書館

詩話会

7月17日(月曜日・祭日) 13時30分から(受付は13時)

場所 大阪府立西区民センター

現関西詩人協会運営委員である原圭治氏に、

「創立時期に関わった物故された方々と作品」のテーマでお話を伺います。また、今年に入

って活動を開始した「朗読文化の会・あい」のメンバーが、その方々の詩を朗読します。

声で聞く事によって、その姿がより立体感を持って浮きあがってくるでしょう。

対象となるのは、

杉山平一、志賀英夫、島田陽子、高橋徹、福中都生子、水口洋治の各氏です。会員でない方のご参加も歓迎しますのでお友達をお誘いになつて、詩画展を見学がてらお出かけ下さい。

合唱もします。参加者を募集します。当日限りのKPA合唱団の編成です。希望者は当日受付に申し込んで下さい。唄う内容は当日発表します。

対象となるのは、

杉山平一、志賀英夫、島田陽子、高橋徹、福中都生子、水口洋治の各氏です。会員でない方のご参加も歓迎しますのでお友達をお誘いになつて、詩画展を見学がてらお出かけ下さい。

合唱もします。参加者を募集します。当日限りのKPA合唱団の編成です。希望者は当日受付に申し込んで下さい。唄う内容は当日発表します。

対象となるのは、



会員の詩

焚火

「鹿門で待つ」という便りが
とどいて幾千年

吉中桃子

豪奢と
呼ぶのがふさわしい形状と
うろこの色艶をたもったまま
へビは死んでいた

それは古代の
彩色された彫り物のようだ

つぎの

草むらへ渡ろうとする気配が
失せずある

陽がかたむき
落ち葉を焼いた

髪が煙にしみ染まるころ
あたりは、すっかり黄昏れた

焔の疲れにまかせていると
鎧を着た生き物の
白い腹が浮かび
鞭のようにしなつた



柿の種の夢

阪南太郎

芽が出るのがビリだった僕の夢は
いつか高い高い木になって
僕より早く芽を出したやつらを
見返してやることだった
どうだ、俺様はこんな高くなったぞ
なんて言ってやりたかった

しかしある真つ暗な晩
朝になれば僕だって少しくらい
高い木になれるだろうか
なんて考えていると
名も知らない星たちが
僕を照らしてくれた

その時決めた
高い木になれなくなつていい
枝を地面に着くくらい垂らして
カニさんにも
足をけがしたお猿さんにも
僕の実を食べてもらおう



英訳五行詩

特に気づいたこと(続き)

(3) 日本語の詩を読んで心に響いた
こと、心に浮かぶ風景、余韻を英語詩
の読者に与えることができるような翻
訳を心がけているところです。

(4) 日本語の【言葉あそび】は英語
にはなりません。それを苦心して翻訳
する場合がありますが、その【音の遊
び】を再現することは不可能です。

(すみくら・村田)

そよ風の置き土産 松原さおり

リビングの真中に小さい椅子

夏の朝家中開け放して椅子に掛けると
八方からそよ風がひとこと囁いて通り
過ぎる

青条揚羽 夜店の風鈴 アイスキャン

デー 麦藁帽

わたしは一日そよ風の置き土産で遊ぶ

Parting gifts from breezes

Saori Matsubara

In a small chair in my living room, I play
With the opening summer windows in the
morning
The air whispering something around me
A swallowtail, A wind bell at a night stall,
An icy-lolly, and a straw hat -- parting
gifts from breezes

(コメント) できるだけ「もの」を並べるように
したが、「遊ぶ」の語もあるので、その点が(?)。
後者を表面にだすなら、文頭、Sitting を入れる。人
か、ものか、どちらを「主」とするかコマル。

My heart

Mieko Wada

Our days are woven together
Once I have lost tomorrow
Because of your anger
Once I have got eternity
Because of your tenderness

(コメント) each other, together
機織り機の動きも兼ねて。

ところ 和田実恵子
ともに織りなす日々の中
あなたの怒りに
わたしは明日を失いました
あなたのやさしさに
わたしは永遠を頂きました

Astronomers Tei-ichi Yoshida

Oh a sunflower! A wild girl
Standing in the field, following
the sun
An unknown astronomer
Hidden in the field
No one knows your constant
charming work.

(コメント) 「知られずに」「野に
隠れた」(天文学者として)だが、
一方、向日葵は、目立った存在。
このコントラスト(?) コマル。

天文学者 吉田定一
太陽を追う野の少女 向日葵よ
ああ、こんなところに まだ誰にも
気づかれず 知られずにいる
野に隠れた 可憐な
天文学者のいることを

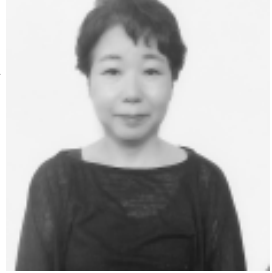
新入会員の紹介

志田 恵(しだめぐみ)

何故詩を紡ぐのか、ナニを伝えたいのか、答えが出るのか出ないのか。ただ手探りで詩作を続けています。いろいろな事を学ばせていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

〒544-0015

大阪市生野区巽南5丁目16-21-101



加藤 桂(かとうけい)

これまで、心揺さぶられるいくつもの詩と出会ってきました。専ら読み手の私でしたが、ご縁があり、思い切って未知の世界へ。

温かく迎えてくださった皆さまに感謝いたします。詩作を通して、新しい自分自身との出会いも楽しみにしています。

〒630-8301 奈良市高畑町 448-4



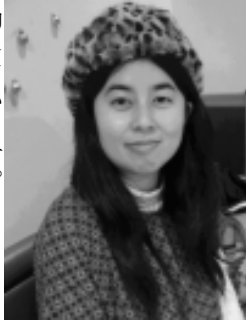
安福奈津子(やすふくなつこ)

詩を書くことは生きる上で欠かせない。18歳で大阪新世界へ、通天閣のエレベーターガールを3年勤め、その後京都、東京を経て、現在生地の岡山在住。

インスタレーション

など展示や展覧会でも活動しています。

〒700-0031 岡山市北区富町1-18-25 レジデンス フジ 101



《退会》

鮑浦敏氏

日高滋氏 (逝去)

富田恵美氏 (逝去)

猫西一也 (逝去)

詩画展搬入についてご注意

搬入は7月6日(木)午後2時から3時、搬入時に全員の作品の写真撮影を行います。搬出は7月20日(木)午前10時から11時。出入り口は今年から職員専用門ではなくギャラリ1の西側出口となります。

募集

第28回 伊東静雄賞 作品募集
表題含め400字詰め原稿用紙2枚以内
締切8月31日 当日消印有効
送り先〒851-0014 諫早市東小路町10-25
諫早市芸術文化連盟 伊東静雄賞係
詳しくは事務局0957-22-1103

えがおの「感動のエピソード」

「愛顔の写真」募集

日本語で800字以内 実体験に限る
応募票(HPからダウンロードして)と作品と一緒に出す。「愛顔」で検索
締切7月31日 水木奈々、新井満 紺野美沙子さんが朗読する
2000人の大朗読会開催
送付先
〒90-8500松山市一番まち4丁目4-2
愛媛県文化振興課「愛顔感動ものがたり」作品募集係

問い合わせ 電話089・912・2972

FAX089・912・2969

子引き孫引き(どんな姿勢で文章に向かうか)

読んでいって要旨をとった結果は、メモとして数少ない項目にまとめることができます。それは逆に自分で文章を書く側に立ったとき、事前にメモを使う必要性、とくに議論文、意見文、あるいは学術の論文を書く場合に、その必要性があることを教えています。

- ①まず頭にあることを思いつくまま書いてみる。
- ②一つ一つの項目について、できるだけ細かく書く。雑多なその項目表を見て、項目に順番を決める。
- ③それぞれに見つかった不足の材料を集める。
- ④書き上げてみて、まずいところを修正する。次に最初のような項目を立てることをもう一度してみる。

大野晋『日本語練習帳』より (編集部)

ホームページだより

- *会員の詩(5月1日~7月31日)
香山雅代「ばらり かりり かりり ばらりと」
下前幸一「八月の櫓」
森 清「鬼子母神の国」
(過去に掲載された作品や会報はアーカイブにて確認できます)
- *会員の皆さんの活動を宣伝するページとしてHPを大いにご活用ください。

(担当:松村信人)

今後の予定

★朗読文化の会「あい」

次の日を朗読練習にあてています。初めての方も、どうぞお越し下さい

7月11日(火)、8月8日(火)、9月12日(火)
場所 ココプラザ 新大阪駅下車。午後2時から。
問合せは田村照視まで TEL075-314-6449

★広島市の大谷志津子氏が、7月15日、広島市東区文化センターで「輝け！いのち 翔ばたけ！命」で『関西詩人協会自選詩集7集』掲載の詩より おれんじゆう「今日と云う一日」、神戸好能「あこがれ」、下前幸一「3・11へ（あなたを忘れないために）」を朗読する予定。

★詩を朗読する詩人の会「風」

7月16日(日) 大阪南森町ギャラリーMAGにて
午後3時〜5時。ゲスト安森ソノ子さん。

★詩の実作講座

7月22日(土) 阿倍野ベルタ、市民学習センターで
午後6時より。「山之口獲」講師尾崎まこと氏。

★小澤俊夫講演会

昔あったこと 今、かんがえなくてはならないこと
8月5日(土) 9時30分開場11時30分まで
ひと・まち交流館 京都

主催 昔ばなし大学有志
連絡先 井上良子 TEL080-5638-1392

★中尾彰秀詩朗読とピアノインプロヴィゼーション
8月8日AM10時30〜11時30
「ピアノテラス」和歌山市013-428-6308 入場ドリ

ンク代のみ
★第12回ポエム「風」フェスティバル
9月17日(日) 午後1時30分より
場所 キヤッスルホテル 地下鉄谷町線天満橋下車
中原中也生誕百年にあたって、中原中也記念館館
長の講演

連絡先 左子真由美 TEL075-965-3019
★ふれあいの祭典ー詩のフェスタひょうい
10月8日(日) 13時30分〜16時30分
ラッセホール(神戸市中央区中山手通4の10の8)
＊講演会 平田俊子「詩を書く時間ーことばをこ
ろがす、言葉につまづく」
＊自作詩朗読会 ぜびご参加下さい。

主催…兵庫県現代詩協会・ふれあいの祭典詩のフェス
タ実行委員会・兵庫県・公益財団法人兵庫県芸術文
化協会
連絡先…神田さよ TEL0798-53-0686

★詩朗読きやらばんで出会った詩人たち 3
10月22日(日) 13時30分〜16時30分
ラッセホール(神戸市中央区中山手通4の10の8)
津軽三味線演奏 山本竹勇
朗読ゲスト 岡 隆夫
万葉集から朗読 永井ますみ
主催…現代生活語詩の会
連絡先…永井ますみ TEL090-4289-8225

★現代詩セミナーin神戸2017

10月28日(土) 13時〜17時30分
神戸女子大学教育センター
(神戸市中央区中山手通り2の23の2)

―輝け女性詩 新しい戦慄を求めて
＊講演会 倉田比羽子
＊シンポジウム
＊自作詩朗読会

主催 現代詩セミナーin神戸2017実行委員会
連絡先 倉橋健一・今西富幸・神田さよ(事務局)
TEL0798-53-0686

運営委員会の模様

2017年4月22日午後1時30分〜5時
エル大阪6階 出席者14名

- ①次期代表候補者選出 4名の次期代表候補者を決定して、その依頼順を投票で決めた。
- ②入退会 2名を入会承認し、2名退会(1名逝去)で、現会員数281名となる。
- ③会計 8月以降の入会の場合、会期の残り期間が僅かなので、会費は免除。但し入会金は必要。
- ④ホームページ これからも会員の詩・エッセイ等を掲載していく。
- ⑤会報 第86号の会報の原稿〆切は、5月末。7月1日発行。
- ⑥文学散歩 参加予定者51名。これをもって締め切る。小旗(横45cm・縦35cm)を作る。デザインは、紺地に、ロゴとロゴマーク、関西詩人協会の名を黄色で入れる。
- ⑦詩話会 関西詩人協会の基礎を作った詩人の話を

原委員が講演。その詩人たちの詩作品を「朗読文化の会 あい」で行う。
⑦詩のイベント 会報配布の折、イベントチラシと参加者募集のはがきを同封する。
⑧総会 総会の講演講師は、植村正純氏。井上靖に関する講演をしていただく。
⑨次期運営委員の選挙 レジメ『関西詩人協会次期運営委員選挙作業日程表』を大倉委員が代読、承認する。(文責 吉田定一)

2017年6月17日午後1時30分〜4時30分
エルおおさか6階 出席者14名
①次期代表候補の決定過程について報告。規約に基づき、運営委員会として左子真由美会員を次期代表候補に決定。総会に提案して承認を得ることとする。
②入退会 1名を入会承認し、2名逝去で、現会員数280名となる。

③会計 本会計と文学散歩の会計について報告。
④詩画展 7月7日〜19日に、大阪市立中央図書館 エントランスギャラリーにて開催する。
⑤詩話会 企画内容等について報告。7月17日
⑥詩のイベント 9月9日、ドンセンター5階視聴覚スタジオにて開催する。

⑦総会 11月12日(日) 午後1時開場、大阪キャッスルホテルにて開催する。講演・植村正純氏「井上靖の詩と小説」に決定。二次会の催しは、会員参加型とする。
⑧次期運営委員の選挙 6月7日に投票用紙を送付済み。7月中に投票してください。8月7日開票。

⑨関西詩人協会自選詩集VIII 発行の実績報告。
⑩文学散歩 実施報告。43人参加で好評。
⑪後援依頼について。チラシを会報発送の際に同封することについて検討。
⑫日本詩人クラブ主催の国際交流フィンランド二〇一七の紹介。

⑬奈良国民文化祭への協力をお願い。
⑭運営委員会議事録の記載要領について簡略化することを提案、了承。(文責・佐古祐二)

会員の活動

大倉元氏・産経新聞5月9日奈良版に、国民文化祭現代詩の祭典大和郡山市について、郡山城址の中にある小野十三郎の詩碑の前でインタビューを受け写真と共に掲載された

おうえ・大倉・加藤・北原・司・禾・松原の各氏は、5月13日大津市歴史博物館での「現代美術展」で、出展者や来場者と一緒に各展示作品のイメージを簡単な言葉で表現し、それをつなぎ合わせて即興の詩を作った。

柿本香苗氏・詩集『ペンを持つとボクね』が日本児童文学者協会主催「第21回三越左千夫少年詩賞」を受賞。

柏原充侍氏・詩集『空の機嫌がよかつたら』豊中市立図書館（9箇所）で一般貸し出しが始められました。

香咲萌氏・日本詩歌句協会 第11回中部大会で詩作品『羊歯』が、選者賞を受賞

斉藤明典氏・「日伊王朝ワインラベル古都藝術祭」が5月16・17日、京都市のみやこめついで開催され、詩「花車」（詩集『逆巻き時計』）が、イタリアの高級ワインのラベルに印刷・展示された。これは、日伊芸術文化教育実行委員会によって、ア

《会員が発行または編集する詩誌》

奇跡 N~S	津坂男
伽羅 VOL15	吉田定
銀河詩手帖 282	近藤摩
呼吸 142	司相衣
コールサック 89・90号	佐相一
現代詩神戸 257	永井ますみ
軸 123	原圭治
詩人学校800~802号	竹内正企
憧憬 2017年2月	三浦千賀子
新燎原 第22号	小林尹夫
野の花 第74・75号	三浦千賀子
風鐸 7号	三浦千賀子
Messier 49	司雅代
リヴィエール 152	横山英由
PO 165号	左子真由美
ぼとり 第46号	武西良和
瑠璃坏 VOL9	青木はるみ

ーティストのデザイン、詩人・歌人などの作品が選ばれたもの。

左子真由美氏・3月12日「京都音楽サークル協議会」コンサートにて詩部門選者。16日、富岡みちさんのラジオ番組（FM千里）に出演。

佐相憲一氏・日本詩人クラブ理事に就任。また、代表を務める小熊秀雄協会会員が150名以上に増える。

左子真由美・永井ますみ氏・4月1日天満橋キヤッスル・ホテルで北海道から九州までの52名の参加を得て、『現代生活語詩集2016 喜・怒・哀・楽』出版記念大朗読会を催した。（現代生活語詩の会・代表・有馬敲氏）主催関西詩人協会会員の参加多数あり、45作品の詩朗読がなされた。

タニウチヒロシ氏・5月、モロッコ詩祭招待参加名古きよえ氏・日本画「選ぶ・20号」にリトニア・杉原千畝記念館賞。2016年12月F M中央千里放送・名古きよえの詩と絵について収録。（5月18日「富岡みちとこんな人」）

安森ソノ子氏・3月16日東京都内、4月1日京都市内にて、日英語での共著詩集『パンドラ』収録作品の朗読とスピーチの会を催す。5月5日F M千里「子供のための時間」に金子みすゞの詩を朗読。5月10日熊本市にて「大学と社会に貢献した『熊本バンド』研究」を話す。

吉田定一氏・4月17日、22日、マサゴ画廊にて、第6回N A C K シニア6人展に、油絵3点出品。6月18日アブラ合唱祭で、詩「おはよう！わがまち」が歌われる。評論「神沢利子の詩『いないいない国への幻郷』そして童謡」と、童謡「つぼみのうた」を雑誌『こども文学の実験・ざわざわ』（4）に発表する。

会員の発刊の詩書

嵯峨京子詩集『映像の馬』（濤標）
田中信爾詩集『Songs』（竹林館）

中尾彰秀詩集『天降りの宴』（森羅通信の会）
瑞木よう詩集『桜の空』（竹林館）
奥村和子・楳野政子著『みはてぬ夢のさめがたく』新資料でたどる石上露子（竹林館）
尾崎まこと写真集『大阪SENSE ATION』（竹林館）
中尾彰秀朗読CD「聖なる地球」「内なる自然（1）」「内なる自然（2）」（森羅通信の会出版）
名古きよえエッセイ集『とこしえーわがふるさと「知井」』（竹林館）

《〈団体の会報・図書》》

大分県詩人協会会報	No. 148
大分県詩人連盟会報	17号
オコス	No. 213 大阪文化団体連合会
群馬詩人クラブ	会報 No. 300
埼玉詩人会会報	第82・83号
埼玉詩集	第17集 埼玉詩人会
静岡県詩人会会報	130号
島根年刊詩集	島根県詩人連合
島根県詩人連合会報	No. 82
とっとり詩人36号	鳥取県現代詩人協会
長野県詩人協会会報	No. 135
日本現代詩人会会報	No. 146
日本詩歌句協会会報	No. 25号
日本詩人クラブ会報（詩界通信）	78号
詩界	No. 264 日本詩人クラブ
福井県詩人懇話会会報	94
福島県現代詩人会会報	115号
2017福島県現代詩集	福島県現代詩人会
北海道詩人協会会報	No. 142
三重県詩人集	VOL 25 三重県詩人クラブ
山梨県詩人会会報	19号

お詫びと訂正
4月1日号の会報85号、P5の《会員が発行または編集する詩誌》で次の間違いがありました。訂正してお詫び致します。
「こどもの詩の花束」 正 左子真由美 誤 左子まゆみ
「ぼとり 45号」 正 武西良和 誤 竹西良和

関西詩人協会会報 第85号 発行者 有馬 敲
次号原稿〆切り8月末日です

編集 永井ますみ

〒639-1056 奈良県大和郡山田原町九一一大倉元方
〒651-1213 神戸市北区広陵町一―二八石井方

編集担当者のメールアドレス DZM03624@nifty.com

TEL・Fax0743-52-0230
TEL・Fax078-581-9582